

今後の CCBT 情報

2023 年度「アート・インキュベーション」プログラム アーティスト・フェロー5 組の発表（7 月中旬）

<https://ccbtr.kibun.or.jp/core-programs/art-incubation>

メディアアーティスト/絵本作家 岩井俊雄ディレクション「メディアアート・スタディーズ 2023：眼と遊ぶ」

（7 月 7 日—8 月 20 日）

メディアアート史を革新した岩井俊雄の代表作「時間層」シリーズを約 25 年ぶりに公開。19 世紀の視覚装置を体験する。メディアアート作品を再生する。映像を自分でつくってみる。岩井俊雄が総合ディレクションを手掛ける、映像の仕組みと原理を体験し、発見し、つくるためのプレイグラウンド

<https://ccbtr.kibun.or.jp/events/playingwithyoureyes>

CCBT について <https://ccbtr.kibun.or.jp/>

2022 年 10 月に渋谷に誕生した、アートとデジタルテクノロジーを通じて、人々の創造性を社会に発揮する（シビック・クリエイティブ）ための活動拠点。東京からイノベーションを生み出す原動力となることを目指している。

小川秀明について

2007 年からオーストリア・リンツ市を拠点に活動。アートとテクノロジーの世界的文化機関として知られるアルスエレクトロニカにて、アーティスト、キュレーター、リサーチャーとして活躍。現在は、同機関の研究開発部門であるアルスエレクトロニカ・フューチャーラボの共同代表を務める。アートを触媒に、未来をプロトタイプするイノベーションプロジェクトや、市民参加型コミュニティの創造、次世代の文化・教育プログラムの実践など、領域横断型の国際プロジェクトを数多く手掛けている。

アルスエレクトロニカ（Ars Electronica）について

- ・オーストリアのリンツ市が創設した、アートと先端テクノロジーのクリエイティブ拠点。
- ・世界最大規模のメディアアートのフェスティバル「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」を 40 年以上にわたり、毎年開催。
- ・企業、行政、文化・教育・研究機関などと共同で、アートや技術の未来を研究する「フューチャーラボ」も設置。
- ・この他、未来の美術館、未来の学校として知られる「アルスエレクトロニカ・センター」と、世界で最も長い歴史を持つメディアアートの国際コンペティション「プリ・アルスエレクトロニカ」などで構成。

シンポジウム参加者プロフィール

宮坂学（東京都副知事／CCBT スーパーバイザー）

1997 年ヤフー株式会社入社、2012 年同社代表取締役社長、2018 年同社取締役会長を歴任。ヤフー退社後の 2019 年 7 月東京都参与に就任、同年 9 月に副知事に就任し、CIO として都政のデジタル化を推進中。2023 年 9 月に事業をスタートする「GovTech 東京」の代表理事に就任予定。また、東京を世界で最もスタートアップフレンドリーな都市にするための戦略にも取り組み、2024 年 5 月に開催予定のグローバルスタートアップイベントの実行委員長を務める。

内田まほろ（一般財団法人 JR 東日本文化創造財団 TAKANAWA GATEWAY CITY 文化創造棟準備室室長）

2025 年大阪・関西万博 テーマ事業シグネチャーパビリオン「いのちの未来」企画統括。知と美が融合する公共の場づくりを目指し、JR 東日本で文化施設の立ち上げに参画する傍ら、国内外のミュージアムにてアドバイザー、コミッショナー等を務める。2002 年～2020 年日本科学未来館勤務。科学とアートやデザインを融合した、数多くの企画展、常設展の開発に従事。Barbican Center ゲストキュレーター、グッドデザイン賞審査委員等。

市原えつこ（アーティスト、妄想インベーター）

1988 年、愛知県生まれ。早稲田大学文化構想学部表象メディア論系卒業。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻在学中。日本的な文化・習慣・信仰を独自の観点で読み解き、テクノロジーを用いて新しい切り口を示す作品を制作する。第 20 回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門優秀賞を受賞、2016 年度総務省「異能 vation」採択。2018 年にアルスエレクトロニカ Interactive Art + 部門で Honorary Mention 受賞、同年「STARTS PRIZE」にも同時ノミネート